

平成 30 年度第 16 回倫理審査委員会(迅速審査)

日 時 2019 年 3 月 13 日(水) 10 時 00 分～11 時 25 分
場 所 〔広島〕講堂 〔長崎〕第三会議室
出席者 児玉共同委員長、篠原共同委員長、小川委員

＜人を対象とする研究に関する倫理審査＞

	部 名	研 究 課 題 名	審 査 結 果	議 事 要 旨
1	統計部	CR151 「原爆被爆者における残存時間加速の定量化」 (Morenz 他)	条件付承認	①研究計画書について、以下の修正を行うこと。 ➤ 「調査期間」において、「方法論に関する調査の実施を開始した。」は「方法論に関する調査の実施を開始する。」と修正すること。（日本語のみ） ➤ 「倫理的問題」は、「倫理的配慮」と修正すること。（日本語のみ） ➤ 「倫理的問題」の「1) 個人情報の管理」において、データ受領者は特定の個人を識別できないことが分かるように修正すること。 ➤ 「倫理的問題」の「2) 調査およびインフォームド・コンセントの説明」において、これらの説明が、情報の放影研での利用およびワシントン大学への提供の両方について説明していることが分かるように修正すること。 ②チェックリスト（研究計画書）（様式 2-2-1）の「8. インフォームド・コンセントの手続き等」は、記載有りにチェックをすること。 ③オプトアウトできないことを認める。よって、情報公開文書（様式 1-5-1）を用いること。 ④情報公開文書（様式 1-5-1）について、以下の修正を行うこと。（日本語のみ） ➤ 「試料・情報の利用目的及び利用方法」において、「曝露」を「被曝」に修正すること。 ➤ 「利用方法」の 2 段落目は削除すること。 ➤ 「利用方法」の 3 段落目を一般の方が理解し易い表現にすること。 ➤ 「です・ます調」で記載する方が表現がやわらかくなる。 ⑤倫理審査申請書の I .8.1)は、b)外部資金ではなく、a)放影研一般会計にチェックを付けること。

＊上記のことについて適正に修正されたことを確認して承認とした。